

ゼロ金利政策解除に関する会頭コメント(2000年8月16日)

日本銀行がゼロ金利政策解除を決断されましたことに、一定の評価を与えたいと思います。

超低金利政策は、バブル経済崩壊で大きな痛手を受けた金融機関などにメリットをもたらす一方、多くの国民は金利収入がほとんど得られなくなり、とりわけ年金生活者には大変な困難を強いております。

今回の引き上げでは、国民の実質購買力を高めて個人消費を刺激するのには不十分であります。今後の預金金利上昇への期待感を与えるものと思います。

なお、依然として厳しい状況にあります中小企業に対しましては、自助努力・自己責任を前提としながらも、金融面から特段の配慮を望みたいと思います。

京都商工会議所
会頭 稲盛和夫